

第8回

日本臨床栄養代謝学会 東北支部学術集会

プログラム集



ライブ配信

会期 2022年9月3日(土)

WEB開催

オンデマンド配信

2022年9月7日(水)正午～9月20日(火)正午



会長

元井 冬彦

山形大学医学部外科学第一講座





たん白アミノ酸製剤
経腸栄養剤(経口・経管両用)

薬価基準収載

イノラス[®] 配合経腸用液 ENORAS[®] Liquid for Enteral Use



ヨーグルトフレーバー



りんごフレーバー



コーヒーフレーバー



いちごフレーバー

187.5mLパウチ

◇効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等は、電子添文をご参照ください。

製造販売元
イーエヌ大塚製薬株式会社
Otsuka 岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5

販売提携
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

販売提携
株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

文献請求先及び問い合わせ先
株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2

<'22.06作成>

第8回日本臨床栄養代謝学会東北支部学術集会の開催にあたって

第8回日本臨床栄養代謝学会東北支部学術集会
会長 元井 冬彦
山形大学医学部外科学第一講座



本年度の学術集会を担当致します、山形大学医学部外科学第一講座の元井冬彦です。

本学術集会は、臨床栄養・代謝に関わる様々な職種の皆様が参加し、症例報告や臨床研究の成果を発表して、意見を交換し議論を深める場として2022年9月3日（土）に開催されます。前身の東北静脈経腸栄養研究会から数えて第36回、日本臨床栄養代謝学会東北支部学術集会として第8回の学術集会になります。歴史と伝統のある本学術集会をお世話する機会を得たことを、多くの会員・役員の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

一昨年から続くCOVID-19感染症（コロナ禍）は、医療の現場や社会に大きな影響を及ぼしており、現場でご苦労されている方も依然多いと思います。コロナ禍以前であれば、現地に一堂に会して対面で議論し、親睦を深めることが当たり前であった種々の学術集会も、現地集合型からハイブリッド形式やオンライン開催に移行しております。オンライン開催は、対面に比べて議論がし難いなどの意見もありますが、一方で時間の制約が少なく場所を選ばず参加できるなどのメリットもあります。多忙な医療現場・どこからでもから発信・視聴できることは、今後の学術集会の一つのあり方として大変重要だと思います。

医療の現場において、栄養代謝の果たす役割はますます大きくなっています。種々の疾患・病態において、栄養サポートを行うことでその転帰が改善します。チーム医療・多職種連携の代表的な形としてNSTがあり、その普及・発展に日本臨床栄養代謝学会本部・各支部活動が果たした役割は大変大きいと思います。また、栄養・代謝学の知識・知見は領域横断的であり、医学・看護学・薬学などの様々な学問と結びつくことで、学際的な深みを与えてくれます。日常医療の現場で遭遇する諸問題を栄養・代謝の視点から見つめ直した症例報告・臨床研究を発表して頂き、多くの皆様に学びの場を提供できればと考えております。

今回はオンライン形式の開催です。場所や時間の制約を気にせず、多くの方に参加・発表・視聴して頂ければ幸いです。特別企画として、本年度横浜で開催された第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会を主催された、大阪国際がんセンター栄養腫瘍科主任部長の飯島正平先生に、がん診療と栄養管理・栄養療法に関して教育講演をお願いしております。ランチョンセミナーは、日本臨床栄養代謝学会理事長である北里大学医学部上部消化管外科学主任教授の比企直樹先生に、ご専門の上部消化管外科の話題や最近刊行された「JSPEN コンセンサスブック1 がん」をご紹介頂き、今後の学会の方向性についてもお話し頂く予定です。たくさんのご応募を頂きました一般演題は、5つのセッションで討論頂くこととなります。司会・ディスカッサントの先生と多くの参加者で、闊達にご討論頂けることを期待しております。オンライン開催の強みを生かし、多くの会員・参加者の皆様にとって実りある、学が多い学術集会になるよう努めて参りますので、宜しくお願い致します。

日本臨床栄養代謝学会東北支部会 世話人一覧

役職	氏名	都道府県	所属
支部長	宮田 剛	岩手県	岩手県立中央病院
代議員	海野 倫明	宮城県	東北大学大学院医学系研究科
	丘 龍祥	山形県	山形大学医学部附属病院
	門脇 敦子	宮城県	仙台市医療センター 仙台オープン病院
	亀井 尚	宮城県	東北大学大学院医学系研究科
	古屋 智規	秋田県	独立行政法人 地域医療機能推進機構 (JCHO) 秋田病院
	水谷 雅臣	山形県	公立置賜総合病院
	元井 冬彦	山形県	山形大学大学院
	森 隆志	福島県	総合南東北病院
学術評議員	秋山 有史	岩手県	岩手医科大学
	池田健一郎	岩手県	池田外科・消化器内科病院
	石亀 昌幸	青森県	八戸西病院
	伊藤恵美子	青森県	医療法人財団謙昌会 総合リハビリ美保野病院
	伊藤美穂子	岩手県	岩手県立中部病院
	遠藤 龍人	岩手県	岩手医科大学
	神崎 憲雄	福島県	公益財団法人 ときわ会 常磐病院
	工藤 貴徳	青森県	八戸市立市民病院
	木暮 道彦	福島県	公立藤田総合病院
	児山 香	宮城県	東北医科薬科大学病院
	佐藤 武揚	宮城県	東北大学大学院医学系研究科
	柴崎 忍	宮城県	仙台市医療センター 仙台オープン病院
	菅原 拓也	山形県	山形市立病院 済生館
	鈴木 伸康	福島県	総合南東北病院
	中野 徹	宮城県	東北医科薬科大学病院
	浪打 成人	宮城県	仙台市医療センター 仙台オープン病院
	長谷川繁生	山形県	山形市立病院 済生館
	早坂 朋恵	宮城県	東北医科薬科大学病院

(2022年4月1日 現在)

参加者へのご案内

■開催形式

WEB 開催 LIVE 配信 2022年9月3日（土）
オンデマンド配信 2022年9月7日（水）正午～9月20日（火）正午

■参加登録期間

事前参加登録：2022年6月15日（水）正午～8月26日（金）正午

当日参加登録：2022年9月2日（金）正午～9月19日（月）正午

※LIVE 配信の視聴をご予定される方で、銀行振り込みをご利用の場合は、8月31日（水）23:59までに必ずご入金ください。

※9月2日（金）正午から9月5日（月）正午の期間は、クレジットカード決済のみの受付となります。

■参加登録方法

本会ホームページ「参加登録」内の最下部「参加登録はこちらから」よりお申込みください。

手順① マイページログイン用 ID/パスワードの新規発行をしていただきます。

手順② 視聴の際に使用する端末とインターネット環境で、テスト動画の視聴をしていただきます。

手順③ 問題なくテスト動画の視聴ができましたら、参加費をお支払いいただきます。

詳細はホームページに掲載されております、「参加登録操作マニュアル」をご参照ください。

※注意点

・オンラインクレジット決済の場合は、支払完了後すぐに参加登録完了となります。

銀行振込の場合は、運営事務局の入金確認が完了するまで参加登録完了になりません。（完了後にメールでお知らせします。）

■参加登録料

	事前登録	当日登録
会員	3,000 円	4,000 円
非会員	4,000 円	5,000 円

※参加登録完了後に、『領収書・参加証明書』と『プログラム・抄録集（8月中旬公開予定）』がダウンロードできるようになります。

※プログラム・抄録集は発刊いたしません。

※WEB 視聴に必要な ID/パスワードは、登録の際にメールでお知らせいたします。

■支部学術集会参加による JSPEN 個人資格認定単位取得について

LIVE 配信およびオンデマンド配信のいずれにご参加いただいても、JSPEN 個人資格認定単位を取得可能となります。単位取得としての証明は、配信サイト「アカウント状況」より参加証明書をダウンロード・取得いただきます。

NST 専門療法士認定制度 新規・更新申請：5 単位

臨床栄養代謝専門療法士認定制度 新規・更新申請：5 単位

■プログラム・抄録集

印刷物の発刊はいたしません。参加登録をされた方に限り、プログラム・抄録集の PDF データをダウンロードしていただけます。

- ・オンデマンド配信最終日まで 配信サイト「アカウント状況」よりダウンロード
- ・オンデマンド配信終了以降 大会ホームページ「プログラム・日程表」よりダウンロード

■視聴に際しての注意事項

- ・サイト内に掲載されている全てのコンテンツの無断撮影、閲覧端末のスクリーンショット機能等を用いた記録や保存、ダウンロード、他サイトへの転載等は、かたく禁止します。
- ・第三者へのログイン ID/パスワードの譲渡・共有はかたく禁止します。1 つの参加登録 ID でご視聴頂けるのは 1 名のみです。必ずお一人ずつ参加登録をお済ませください。
- ・ご視聴にあたっては、必ず推奨環境をご確認いただき、指定のブラウザをご利用ください。アクセスが集中すると、指定ブラウザをご利用の場合でも動画再生に時間がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■質疑応答

ライブ配信での質疑応答は、Zoom の Q&A 機能を利用して質問していただきます。質問の際は、所属・氏名を明記して投稿してください。座長・演者には、マイクを通して回答いただきます。時間の都合などにより、質問に回答いただけない場合もありますので、予めご了承ください。後日配信されるオンデマンド配信では、質疑応答の録画データも配信される予定です。所属・氏名が読み上げられることを同意いただいたうえで、質問を投稿していただきますようお願いいたします。

オンデマンド配信では質疑応答はありません。メール等で事務局に質問をお送りいただいても、対応いたしかねますのでご了承ください。

■お問い合わせ

大会事務局：山形大学医学部外科学第一講座

事務局長 鈴木 武文

〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2

運営事務局：株式会社 オフィス・テイクワン

〒451-0075 名古屋市西区康生通 2-26

TEL：052-508-8510 FAX：052-508-8540 E-mail：jспен_tohoku@cs-oto.com

座長・演者へのご案内

■はじめに

本学会のプログラムは Zoom ウェビナーを使用したライブ配信となります。教育講演、ランチョンセミナーでは、画面共有にてライブ講演していただき、参加者からの質問（Zoom Q&A）に対して、マイクを通してライブでご回答いただきます。一般演題では、事前に発表動画（MP4）を提出していただき、ライブ時に運営事務局が再生をいたします。動画終了後に、参加者からの質問（Zoom Q&A）に対して、マイクを通してライブでご回答いただきます。

ライブ配信の様子は録画され、後日オンデマンドでも配信いたします。

■発表動画の作成

事前提出していただく発表動画の作成方法は、大会ホームページ「座長・演者へのご案内」よりご確認ください。

https://cs-oto3.com/jspen_tohoku2022/chair.html

■発表時における利益相反（COI）の開示

申告すべき利益相反（COI）がない場合、ある場合どちらの場合も申告が必要です。発表スライド2枚目に利益相反（COI）自己申告に関するスライドを加えてください。利益相反に関する詳細については、学会ホームページよりご確認ください。スライドフォーマットもこちらからダウンロードできます。

<https://www.jspen.or.jp/society/coi/>

■Zoom 接続チェック（事前打合せ）

全ての座長・演者の先生方を対象に、Zoom の使用方法ならびに音声と通信状況の事前確認をさせていただきます。詳細につきましては、別途運営事務局よりご連絡いたします。

■インターネット接続

光通信の有線 LAN のご利用を推奨いたします。Wi-Fi などの無線では通信が安定しない場合があり、映像や音声に影響が出る可能性がありますのでご注意ください。

■使用する端末

Zoom は Windows、Macintosh、Android、iOS でご利用いただけます。Android、iOS の場合は、アプリをインストールする必要があります。Zoom アプリをご利用の場合は最新バージョンであることをご確認ください。

端末にはウェブカメラとマイクが必要です。内蔵マイクおよび内蔵スピーカーの利用は、周囲の雑音が入る可能性があり、また、ハウリングを発生させる原因となりますので、マイク付きヘッドフォン（イヤホン）のご使用を推奨いたします。

■動作環境安定のために

ご使用の端末は電源に接続し、バッテリーでの駆動は避けてください。
Zoom ウェビナーへの入室前に、Zoom 以外のアプリは閉じてください。

■講演時間

	発表	質疑応答
教育講演	60分	
一般演題	6分	3分

動画作成時は時間超過がないようにご注意ください。
時間厳守での進行にご協力をお願いいたします。

■質疑応答

視聴者からの質問は、Zoom の Q&A 機能を用いテキスト形式で受け付けます。質問の採否は座長に一任いたします。採用した質問は、座長代読で進行をお願いいたします。視聴者が Q&A 機能で質問を投稿すると、Q&A に数字が付きますので、クリックして質問内容をご確認ください。

日程表

9:00		WEB開催
9:00	9:00～9:45	世話人会
	9:55～10:00	開会のご挨拶 元井 冬彦(第8回日本臨床栄養代謝学会東北支部学術集会 会長)
10:00	10:00～10:50	一般演題1 栄養に関する各種評価 (O-1-1～O-1-5) 座長:長谷川 繁生 ディスカッサント:宮田 剛
11:00	11:00～12:00	教育講演 ニューノーマルとしての輸液栄養管理のベストプラクティス 飯島 正平 座長:水谷 雅臣
12:00	12:10～13:10	ランチョンセミナー がん治療における栄養の役割 比企 直樹 座長:元井 冬彦 共催:ミヤリサン製薬株式会社
13:00	13:20～14:00	一般演題2 多職種連携・症例 (O-2-1～O-2-4) 座長:蜂谷 修 ディスカッサント:亀井 尚
14:00	14:10～15:00	一般演題3 アナモレリン・NST (O-3-1～O-3-5) 座長:児山 香 ディスカッサント:丘 龍祥
15:00	15:10～15:50	一般演題4 困難症例に対する栄養管理 (O-4-1～O-4-4) 座長:原 康之 ディスカッサント:門脇 敦子
16:00	16:00～16:50	一般演題5 栄養評価と治療成績 (O-5-1～O-5-5) 座長:中野 徹 ディスカッサント:早坂 朋恵
17:00	16:50～17:00	次期会長のご挨拶 閉会のご挨拶 元井 冬彦(第8回日本臨床栄養代謝学会東北支部学術集会 会長)

プログラム

開会のご挨拶

9:55 ~ 10:00

元井 冬彦

第8回日本臨床栄養代謝学会東北支部学術集会 会長

一般演題 1 栄養に関する各種評価

10:00 ~ 10:50

座長：長谷川繁生（山形市立病院 済生館）
ディスカッサント：宮田 剛（岩手県立中央病院）

- 1-1 嚥下造影検査結果における定量化を目的とした評価基準の考案
神崎 憲雄（公益財団法人ときわ会常磐病院 外科）
- 1-2 頭頸部悪性腫瘍手術を対象とした ERAS 栄養管理プログラムの実施状況
今井 隆之（宮城県立がんセンター 頭頸部外科）
- 1-3 PGSAS-37 アプリを用いた胃切除術後の QOL 評価
鈴木 武文（山形大学大学院医学系研究科医学専攻 外科学第一講座）
- 1-4 CT 値の変化からみる減量・代謝改善手術の脂肪肝改善効果
土屋 堯裕（東北大学 消化器外科学）
- 1-5 膵頭十二指腸切除術における膵外分泌機能検査（PFD 試験）の意義
石田 晶玄（東北大学 消化器外科学）

教育講演

11:00 ~ 12:00

座長：水谷 雅臣（公立置賜総合病院 外科・消化器外科）

ニューノーマルとしての輸液栄養管理のベストプラクティス

飯島 正平（大阪国際がんセンター）

ランチョンセミナー

12:10 ~ 13:10

座長：元井 冬彦（山形大学医学部外科学第一講座）

がん治療における栄養の役割

比企 直樹（北里大学医学部 上部消化管外科学）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

座長：蜂谷 修（山形大学医学部附属病院 感染制御部）

ディスカッサント：亀井 尚（東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学分野）

○-2-1 外来化学療法室での栄養指導により早期から信頼関係を築き、緩和ケアチームでの介入に移行した一症例

佐々木英乃（JA 秋田厚生連 雄勝中央病院 栄養科 /

JA 秋田厚生連 雄勝中央病院 緩和ケアチーム）

○-2-2 褥瘡を有する高度栄養障害の患者に対し多職種チームが連携介入した 1 症例

土屋 洋子（山形大学医学部附属病院 栄養管理部）

○-2-3 短腸症候群・小腸ストーマ造設者患者において NST 介入で人工肛門閉鎖術に成功し在宅復帰につなげた 1 症例

角田真佐枝（北福島医療センター 栄養科）

○-2-4 運動療法中の間質性肺炎患者に導入した栄養強化食の忍容性および有効性の評価

渡部 照美（一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院 薬剤部）

座長：児山 香（東北医科薬科大学病院 がん治療支援（緩和）科）

ディスカッサント：丘 龍祥（みゆき会病院 薬剤科）

○-3-1 アナモレリン塩酸塩の使用状況と適正使用に向けた検討

稲毛あずさ（山形大学医学部附属病院 薬剤部）

○-3-2 実臨床におけるアナモレリンの使用経験

～導入初期の高血糖に注意～

高木 瞳（大崎市民病院 栄養管理室）

○-3-3 がん悪液質に対するアナモレリン塩酸塩使用症例の検討

菊地 功（市立秋田総合病院 消化器外科 / 市立秋田総合病院 NST）

○-3-4 NST 回診・カンファレンスの見直し

～回診の質の向上や iPad 等を活用した業務量軽減への取り組み～

齋藤 伸幸（公立置賜総合病院 NST）

○-3-5 東北大学 NST 栄養支援ステーションの取り組み

伊関 雅裕（東北大学病院総合外科）

一般演題 4 困難症例に対する栄養管理

15:10 ~ 15:50

座長：原 康之（日本海総合病院 外科）

ディスカッサント：門脇 敦子（仙台オープン病院 栄養管理室）

- 4-1 入院後に発症した栄養障害を背景とする無石胆嚢炎の2例
鈕持 洋美（公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院 研修医）
- 4-2 胃癌合併反復性麻痺性胃拡張症に対して腹腔鏡下幽門側胃切除術を施行し、栄養改善を認めた一例
古仲 良行（山形大学大学院医学系研究科医学専攻外科学第一講座）
- 4-3 全身状態を改善し、二期的に吻合を行った小腸穿孔、急性汎発性腹膜炎の一例
高須 直樹（山形市立病院 外科）
- 4-4 食道癌術後の胃管壊死により頸部食道瘻となり、完治までの5か月間を腸瘻からの経腸栄養で管理した症例
水谷 雅臣（公立置賜総合病院 外科・消化器外科）

一般演題 5 栄養評価と治療成績

16:00 ~ 16:50

座長：中野 徹（東北医科薬科大学病院 消化器外科）

ディスカッサント：早坂 朋恵（東北医科薬科大学病院）

- 5-1 食道癌術後の好中球リンパ球比 (NLR)、リンパ球単球比 (LMR) および CRP/Alb 比 (CAR) と長期予後の関連性の検討
角掛 純一（東北大学病院 総合外科）
- 5-2 切除不能進行・再発胃癌患者における免疫チェックポイント阻害薬投与時の栄養状態と治療成績
外田 慎（山形県立中央病院 外科）
- 5-3 術前の栄養状態が肝切除の周術期に与える影響について
藤尾 淳（東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学分野）
- 5-4 術前 CONUT (controlling nutritional status) score を用いた超高齢者大腸癌症例の術後合併症リスク評価
三田地克昂（山形県立中央病院 外科）
- 5-5 スtent挿入後根治術を受けた閉塞性大腸直腸癌における予後因子としてのグロブリン/アルブミン比の検討
佐藤龍一郎（仙台赤十字病院 外科 / 仙台オープン病院 外科）

次期会長のご挨拶 / 閉会のご挨拶

16:50 ~ 17:00

元井 冬彦

第8回日本臨床栄養代謝学会東北支部学術集会 会長

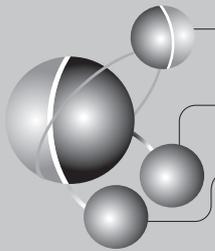


NUTRITION



日本初！HMB 配合飲料

1袋の飲用で



HMB 1,200 mg

L-グルタミン 7,000 mg

L-アルギニン 7,000 mg

の摂取が可能です



オレンジ味



ストロベリーオレンジ味

アバンド

® 内容量：24g/袋

カルシウムHMB/L-グルタミン/L-アルギニン 配合 原産国名：米国

本品は医薬品ではありません。

たんぱく質摂取制限のある方やご高齢の方は、
医師・栄養士等の指導を受けることをおすすめします。

輸入者

アボットジャパン合同会社

東京都港区三田三丁目5番27号

【お問い合わせ・資料請求先】アボットジャパン合同会社 お客様相談室 フリーダイヤル **0120-964-930**

2020年1月作成

TERUMO

スプレーなら、狙いやすい

癒着防止吸収性バリア

Ad Spray

一般的名称:癒着防止吸収性バリア 販売名:アドスプレー 医療機器承認番号:22800BZX00234

製造販売業者 **テルモ株式会社** 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp

TERUMO、**Ad Spray**はテルモ株式会社の商標です。
テルモ、アドスプレーはテルモ株式会社の登録商標です。
©テルモ株式会社 2018年1月

RING OF HOSPITALITY

一人ひとりの未来・生命・健康を支える

日々進歩する医療・生命科学・介護の現場・環境。
シバタインテックは、最先端の知識と技術、
総合力を駆使した付加価値の高いご提案で、
これからもお客様を支え続けます。

おかげさまで90周年 **90 YEARS**
株式会社 **シバタインテック**
<https://www.shibataintech.co.jp>

本社 / 〒984-0015 宮城県仙台市若林区加町二丁目11番地3	TEL.022-236-2311(代表) FAX.022-236-2362	■郡山支店 / 〒963-8041 福島県郡山市東田町稲川原21-2	TEL.024-923-2929(代表) FAX.024-934-5436
■山形支店 / 〒990-2323 山形県山形市桜田東二丁目1番21号	TEL.023-642-8153(代表) FAX.023-623-5853	■福島営業所 / 〒960-8228 福島県福島市松山町79番地	TEL.024-525-4658(代表) FAX.024-525-4656
■庄内営業所 / 〒998-0828 山形県酒田市あき塚町659番地の8	TEL.0234-26-2272(代表) FAX.0234-26-9875	■会津営業所 / 〒965-0036 福島県会津若松市馬場本町4-23	TEL.0242-25-3650(代表) FAX.0242-25-3651
■鶴岡営業所 / 〒997-0021 山形県鶴岡市宝町9番21号	TEL.0235-29-1366(代表) FAX.0235-29-1367	■いわき営業所 / 〒970-0101 福島県いわき市平下神台天神27-1	TEL.0246-85-0504(代表) FAX.0246-85-0514
■IBJキャピタル / 〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町三丁目7-6	TEL.022-235-0978(代表) FAX.022-235-5066	■水戸営業所 / 〒983-0035 宮城県仙台市宮城野区日の出町三丁目7-6	TEL.022-782-7422(代表) FAX.022-782-7866

Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

患者さんの Quality of Lifeの向上が 私たちの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD003-TB-2103-1